

令和6年度土採取現場責任者試験

試験問題

注意事項

1. 試験時間 10時～12時（2時間）
2. 試験問題の構成

法令問題	10問（問1～問10）
技術問題	10問（問11～問20）
3. 解答用紙
上部の所定の欄に、受験番号及び氏名を正しく記入してください。
4. 解答の記入方法
 - （1）ア～エのうちから、正解と思う該当符号を解答欄に記入してください。
 - （2）一つの解答欄に複数の符号を記入した場合は、いずれも正解としません。
 - （3）解答を訂正する場合は、消しゴムで抹消してから書き直してください。
5. 電子計算機及び計算機機能付時計の使用は禁止します。
6. 携帯電話等の電源は、必ず切ってください。
7. 退室は、試験開始後40分間、及び試験終了前10分間は認めません。退室時には必ず解答用紙を提出してください。なお、一度退室すると試験が終了するまで入室できません。
8. 試験問題は持ち帰りできます。
9. 不正行為をした方は失格とします。また、不正行為と紛らわしい行為をした場合も同様です。
10. 試験中はこの注意事項及び係員の指示に従ってください。従わない場合は、退場を命じることがあります。
11. 中途退出等係員を呼ぶ場合は、静かに手を挙げてください。

千葉県

このページは空白です。

問題中の用語について

- 1 「条例」とは、「千葉県土採取条例（昭和49年千葉県条例第1号）」をいう。
- 2 「規則」とは、「千葉県土採取条例施行規則（昭和49年千葉県規則第66号）」をいう。
- 3 「審査基準」とは、「千葉県土採取計画の認可に係る審査基準（平成25年4月1日施行）」をいう。

このページは空白です。

問 1 条例の目的に関する記述について、正しいものを、次のア～エのうちから一つ選べ。

- ア 土の採取量を調整し、もって適正な価格の維持を図る。
- イ 土の採取に伴う公害を防止し、もって自然環境の保全を図る。
- ウ 土採取業の健全な発達により、もって地域経済の振興に資する。
- エ 土の採取に伴う災害を防止し、もって県民の福祉の維持及び増進に資する。

問 2 条例に基づく土の採取の定義に関する次の文中、～に入れるべき語句について、**正しいものの組合せ**を、次のア～エのうちから一つ選べ。

この条例において「土の採取」とは、埋土又はの用に供される土を採取することを主な目的としてをすることであって、当該土のを伴うものをいう。

- | | ① | ② | ③ | ④ |
|---|----|----|----|----|
| ア | 盛土 | 土地 | 掘削 | 搬出 |
| イ | 覆土 | 山林 | 開発 | 販売 |
| ウ | 盛土 | 山林 | 掘削 | 搬出 |
| エ | 覆土 | 土地 | 開発 | 販売 |

問3 次の①～④の記述のうち、条例に基づき知事が土採取業者の登録を拒否する事由として、**正しいもの**は、いくつあるか。次のア～エのうちから一つ選べ。

- ① 選任しようとする現場責任者が、他の土採取業者の現場責任者として登録されている者であった。
- ② 登録を申請した法人の業務を行う役員に、申請日の20か月前に条例第2条の10第1項の規定により土採取業者登録を取り消された者が存在した。
- ③ 選任しようとする現場責任者が、その登録を受けようとする法人の代表取締役であった。
- ④ 現場責任者として、砂利採取法第15条の規定による業務主任者試験に合格した者を置くこととした。

- ア 一つ
- イ 二つ
- ウ 三つ
- エ 四つ

問 4 条例及び規則に基づく現場責任者に関する次の①～④の記述について、**誤っているものの組合せ**を、次のア～エのうちから一つ選べ。

- ① 現場責任者は、土の採取に従事する者に対する土の採取に伴う災害の防止に関する教育の計画を立案し、実施しなければならない。
- ② 現場責任者は、土採取計画を作成し、認可申請を行わなければならない。
- ③ 現場責任者は、土の採取に伴う災害が発生した場合に、その原因を調査し、適切な対策を講じなければならない。
- ④ 現場責任者は、土採取場において、認可採取計画に従って土の採取が行われるよう土採取業者に助言しなければならない。

ア ①、②

イ ②、③

ウ ②、④

エ ③、④

問5 条例に基づく採取計画の認可の基準に関する次の文中、①～
④に入れるべき語句について、**正しいものの組合せ**を、次のア～エのうちから一つ選べ。

知事は、第3条第1項の認可の申請があった場合において、当該申請に係る採取計画に基づいて行う土の採取が①に危害を及ぼし、公共の用に供する②を損傷し、又は③の利益を損じ、④と認めるときは、同項の認可をしてはならない。

	①	②	③	④
ア	住居	財産	他の産業	公共の福祉に反する
イ	他人	施設	住民	災害のおそれがある
ウ	住居	財産	住民	災害のおそれがある
エ	他人	施設	他の産業	公共の福祉に反する

問 6 条例及び規則に基づく採取計画の認可に関する記述について、誤っているものを、次のア～エのうちから一つ選べ。

- ア 宅地造成に伴って土を採取し、造成工事で余った土を残土として搬出し、廃棄する場合は、条例が適用されないため、認可を受ける必要はない。
- イ 知事は、認可申請に係る採取計画に定められた採取する土の数量及びその採取の期間を審査し、土の需給に混乱が生じるおそれがあると認めるときは、当該認可に条件を付することができる。
- ウ 認可を受けた土採取業者は、当該認可に係る採取計画に規則で定める軽微な変更をしようとするときは、知事に届け出なければならない。
- エ 土採取業者が採取計画の認可に付された条件に違反した場合、知事は、当該認可を取り消し、又は六月以内の期間を定めてその認可に係る土の採取の停止を命ずることができる。

問7 条例に基づく緊急措置命令等に関する次の①～④の記述について、**正しいもの**は、いくつあるか。次のア～エのうちから一つ選べ。

- ① 知事から緊急措置命令を受けた土採取業者が、当該命令に従って必要な措置を行う限りにおいては、その措置の内容が認可採取計画と異なっていたとしても遵守義務違反とはならない。
- ② 知事は、登録を受けずに土採取業を行った者に対し、採取跡の埋戻しその他土の採取に伴う災害の防止のため必要な措置を執るべきことを命ずることができる。
- ③ 知事は、緊急措置命令を発しようとするときは、あらかじめ公開による聴聞を行わなければならない。
- ④ 非常災害のために必要な緊急措置として、採取計画の認可を受けずに土の採取を行い、当該非常災害がやんだ後にその旨を届け出た土採取業者に対し、知事は、土の採取に伴う災害の防止のために必要な措置を執るべきことを命ずることができる。

- ア 一つ
- イ 二つ
- ウ 三つ
- エ 四つ

問 8 条例及び規則に基づく完了及び廃止の届出等に関する次の①～④の記述について、誤っているものの組合せを、次のア～エのうちから一つ選べ。

- ① 土採取完了（廃止）届出書は、認可採取計画の採取の期間内に提出しなければならない。
- ② 土採取業者は、認可に係る土の採取を完了し、又は廃止したときは、規定様式による届出を行わなければならない。
- ③ 土採取完了（廃止）届出書には、採取跡地の土砂等の崩壊の防止方法及び施設並びに跡地利用計画等を記載しなければならない。
- ④ 土採取業者が認可に係る土の採取を廃止しても、当該認可は、その効力を失わない。

- ア ①、②
- イ ①、④
- ウ ②、③
- エ ③、④

問 9 条例及び規則に基づく土採取場に掲げるべき標識に関する記述について、**正しいもの**を、次のア～エのうちから一つ選べ。

- ア 補助標識は、土採取場の区域が確認できるものでなければならない。
- イ 主標識は、採取計画の認可年月日及び掘削を行う土地の所有者の氏名を掲示しなければならない。
- ウ 主標識は、土採取場の掘削区域の間近に掲示しなければならない。
- エ 補助標識は、その下部が地面から50 cm以上の高さになるよう設置しなければならない。

問10 土採取に関連する法令等に関する記述について、誤っているものを、次のア～エのうちから一つ選べ。

※一部の法律では、当該法の規定に基づき、事務の一部を都道府県知事や指定都市の長等の権限として処理すること（以下、「事務権限の移譲」という。）ができる場合があるが、この問題においては、事務権限の移譲はないものとして解答すること。

- ア 農地法上の農地において土の採取を行おうとするときは、都道府県知事の許可を受けなければならない。（農地法）
- イ 土の採取に伴い一般粉じん発生施設を設置しようとする者は、環境省令で定めるところにより、都道府県知事の許可を受けなければならない。（大気汚染防止法）
- ウ 事業者は、労働災害発生の急迫した危険があるときは、直ちに作業を中止し、労働者を作業場から退避させる等必要な措置を講じなければならない。（労働安全衛生法）
- エ 土地の掘削その他の土地の形質の変更であって、その対象となる土地の面積が環境省令で定める規模以上のものをしようとする者は、都道府県知事に届け出なければならない。（土壌汚染対策法）

問 11 審査基準に定める土の掘削の方法等について、正しいものを、次のア～エのうちから一つ選べ。

- ア 掘削の深さは、掘削基準点から10メートル以内であれば、掘削可能である。
- イ 崩壊等による災害を防止するため、採取中の掘削面のこう配は50度以下で掘削しなければならない。
- ウ 掘削の方法は、階段掘り方式でなければならない。
- エ 申請者は、丁張りその他の方法により、掘削のこう配及び掘削深を表示しなければならない。

問 12 土採取場の管理に関する次の①～⑤の記述について、正しいものの組合せを、次のア～エのうちから一つ選べ。

- ① 乾燥時においては、土砂の飛散を防止するため、周辺の状態に応じて、土採取場内への散水、防砂ネットの設置その他の必要な措置を講ずること。
- ② 採取場の外周には、高さ 2 m 以上の有刺鉄線柵等の立入防止柵と危険標識を設置する等十分な危険防止の措置を講じなければならない。
- ③ 土砂の飛散を防止するため、土採取場内で土採取が終了しあるいは裸地のままの区域で、現在あるいは今後の土採取において支障を来さない区域がある場合には、早急に緑化を進めるものであること。
- ④ 掘削箇所への地下水の浸透、地下水位の低下その他の地下水の変化により、土採取場周辺の井戸水、農業用水その他の水の利用に悪影響を与えないように行うものであること。
- ⑤ 降雨等により、土採取場外に土砂、汚濁水等が流出するのを防止するため、土採取場内に浸透池、排水溝の設置その他の適切な措置を講じなければならない。

- ア ①、②、④、⑤
- イ ①、②、⑤
- ウ ①、③、④、⑤
- エ ①、③、④

問 13 土採取場において、審査基準に基づいて垂直高さ3.5メートルの掘削を行った場合、採取終了後ののり面の、のり肩側にある隣接地との境界からのり尻までの水平距離は最小限で何メートルか。正しいものを、次のア～エのうちから一つ選べ。

ただし、採取終了後ののり面のこう配は4.5度とし、隣接地には、人家、公共施設等がないものとする。

- ア 3.5メートル
- イ 3.7メートル
- ウ 4.0メートル
- エ 4.2メートル

問 14 土砂の堆積場の設置等に関する記述について、誤っているものを、次のア～エのうちから一つ選べ。

- ア 下流部に堆積土が広がることを考慮し、堆積場の用地は広く確保することが望ましい。
- イ 堆積場の設置に当たっては、降雨の集水面積ができるだけ大きくなるような箇所が望ましい。
- ウ 堆積場の設置に当たっては、両側にしっかりした地山が接近している箇所が望ましい。
- エ 堆積場の下流に人家、鉄道、河川、公道等が存在しないこと。

問 15 雨水を処理するための沈砂池（浸透池）に関する記述について、正しいものを、次のア～エのうちから一つ選べ。

- ア 沈砂池（浸透池）の容量は、その地方の過去の降雨量と集水面積を考慮して決定する。
- イ 沈砂池（浸透池）の底に泥分がたまるのを防ぐため、排水口はなるべく底に近い方に設ける。
- ウ 沈砂池（浸透池）の位置は、土砂を掘削する箇所から出来るだけ近くに設ける。
- エ 沈砂池（浸透池）に土砂が大量に堆積すると、水の滞留時間が少なくなり土砂の沈降効果が減るので、沈砂池の水深は、土砂で埋まらないように10m以上深くする。

問 16 土採取跡地の緑化に関する記述として、次の①～④のうち、正しいものの組合せを、次のア～エのうちから一つ選べ。

- ① 土採取跡地の緑化は、生態系の流れに順応して、できるだけ自然に近い方法で施工することが重要である。
- ② 肥料の三要素のうち、リン酸は主に根の発育と細胞内の浸透圧調整に関係する。
- ③ 草本による緑化は、景観と調和し、衰退しにくく生態系の回復が早いことから、土採取跡地の緑化に最も適している。
- ④ 緑化施工地の土壌侵食防止には、わらむしろ、不織布、マット類を用いて地表面を被覆するのが、有効である。

ア ①、②、④

イ ①、④

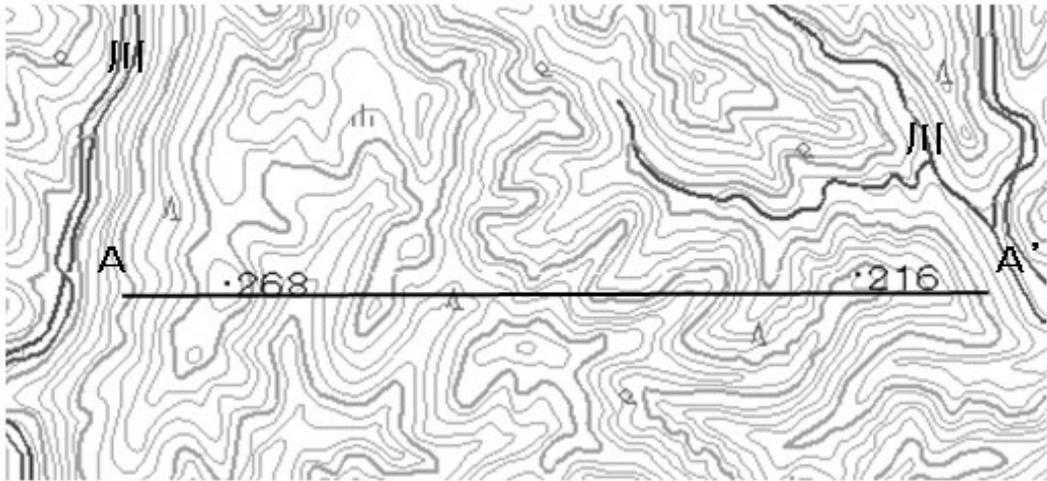
ウ ②、③、④

エ ③、④

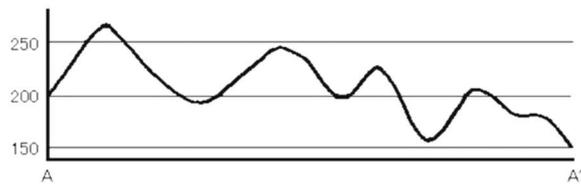
問 17 ダンプトラックの機種選定で重要なものの一つに、積込機械との組合せがある。これに関し、検討すべき関係として、誤っているものを、次のア～エのうちから一つ選べ。

- ア ボディ幅と積込機のダンピングリーチ
- イ ボディ積載容量と積込機のバケット容量
- ウ ボディ積込高さとは積込機のダンピングクリアランス
- エ ボディ積込高さとは積込機のバケット幅

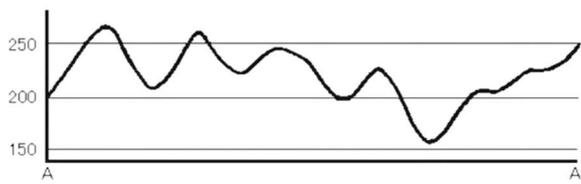
問 18 次の地形図に表示されたA-A'に沿った断面図として、正しいものを、次のア～エのうちから一つ選べ。
ただし、縮尺は2,500分の1とする。



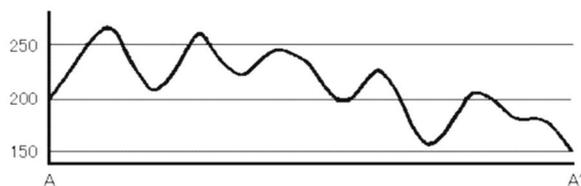
ア



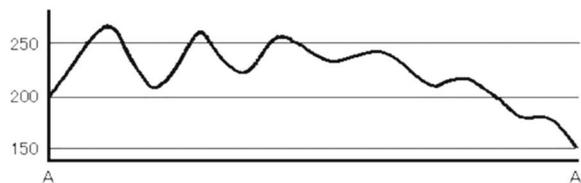
イ



ウ



エ



問 19 集水面積が 11ha の採取場に 1 時間当たり 40mm の降水があった。2 時間降り続いた場合、この水量は、長さ 50m、幅 20m、高さ 4m のプールの容積の何倍に相当するか、**正しいもの**を、次のア～エのうちから一つ選べ。

- ア 1. 3 倍
- イ 2. 2 倍
- ウ 3. 3 倍
- エ 4. 2 倍

問 20 採取計画の立案には、掘削総量の算定が必要となるが、下記の計画内容において、平均断面法により算定される掘削量として、正しいものを、次のア～エのうちから一つ選べ。

< 計画内容 >

			測点間距離 (m)	単位数 (m ²)
No. 0			20.000	0.00
No. 1			20.000	210.00
No. 2			20.000	150.00
No. 3			20.000	230.00
No. 3	+10.0		10.000	310.00
計			70.000	

- ア 12, 200 m³
- イ 13, 600 m³
- ウ 14, 400 m³
- エ 14, 900 m³

このページは空白です。

このページは空白です。